

錦糸町わくわく通信

2024.12

(11月22日発行)

第47号

●お問合せ●

東都よみうり新聞社

TEL.03-6663-9010

錦糸町の クリスマスイルミネーション

商業施設の多い錦糸町駅周辺では、
多彩なイルミネーションが楽しめます。

北口エリア一帯を約18万球のLEDで彩る
アルカタワーズのイルミネーション



今年は、多彩な表現が可能な「Twinkly」のシステムを新たに取り入れ、「墨田区・錦糸町」という街をテーマに、地域に寄り添ったオリジナルの電飾空間を演出します。

【イルミネーション点灯日時】
2025年1月31日(金)までの
午後5時から9時まで



江戸切子をイメージしたイルミネーション

大きなモミの木のクリスマスツリーが見られる
南口の楽天地ビル × 錦糸町パルコ



モミの木のクリスマスツリー

楽天地ビルと錦糸町パルコは11月22日夕方にクリスマスツリーの点灯式を開きます。立志舎高等学校の吹奏楽部による生演奏および各商業施設のキャラクター「らくてんちよー」と「パルコアラ」が登場して点灯の瞬間を盛り上げます。

【クリスマスツリー点灯式日時】
11月22日(金)午後6時30分～
楽天地ビル正面広場

※クリスマスツリー点灯期間は12月25日まで

2024全日本ボクシング選手権大会

【日時】11月26日(火)～12月1日(日)

※競技開始時間はホームページ参照

【会場】ひがしんアリーナ

【主催】日本ボクシング連盟

【内容】アマチュアボクシング国内最高峰の全国大会(トーナメント)

【チケット】全日程観戦無料

【ホームページ】https://jabf-revival.com/jabf_tournament/
[/2024all_japan_boxing_championship/](https://2024all_japan_boxing_championship/)



視覚障がい者が自由に歩ける 商業施設へ第一歩

楽天地ビルが 「コード化点字ブロック」設置の実証実験

目が不自由な人が歩く際に移動方向や位置関係などの情報を伝える点字ブロック。駅や道路のような安全な誘導が必要な場所に設置されているが、自由歩行となる商業施設ではほぼ見かけないことに気付いたのだろうか。東京楽天地は、すべての人に分け隔てのない利用しやすさを考えるインクルーシブの観点から楽天地ビル1階の通路部分に「コード化点字ブロック」を3か月間敷設する実証実験を11月1日から始めた。

シート状の点字ブロックは、地下鉄の駅出口を上がって映画館窓口や「PARCO」に向かう動線など約80㎡が設置された。エレベーター前や分岐点にある黒い輪のシールがついた「コード化点字ブロック」は、スマートフォンのアプリで読み取ることで「ここは分岐点です。前方はパルコ、四ツ目どおり側入口、東宝シネマズチケット売り場方向です」といった音声メッセージが流れる。

同社SDGsプロジェクト

事務局によると、「コード化点字ブロック」は、開発した金沢工業大学ならびにW&Mシステムズ合同会社と連携プロジェクトを進める墨田区の情報経営イノベーション専門職大学(iU)の関係者を通じて導入のきっかけが作られた。設置においては特定非営利法人日本インクルーシブ・クリエイターズ協会(NICA)の協力を得てブロックの位置や音声メッセージを決定し、シート状の点字ブロック設置作業には楽天地社員も参加した。期間中にNICAを通じて視覚障がい当事者のネットワークに利用を呼びかけ、アンケートで声を集める。将来的には施設の各所に広げ、自由に買い物などを楽しめる環境づくりにつながりたいという。



楽天地ビルの仲通路に期間限定で敷かれたコード化点字ブロック、約80㎡におよぶ商業施設での設置例は初めてだという

ドラマに出て来た場所を訪れてみよう！ 「錦糸町パラダイスすみだロケ地マップ」

ドラマ「錦糸町パラダイス～渋谷から一本～」の撮影場所を紹介する「錦糸町パラダイスすみだロケ地マップ」が完成しました。

テレビ東京の深夜枠で2024年夏期に放送された「錦糸町パラダイス」は、台本の約8割を墨田区内でロケ撮影し、音楽フェスのシーンを公募で選ばれた区内在住者がエキストラ参加して撮影するなど、地域と積極的に交流を図りながら制作が進められました。

墨田区と墨田区観光協会が制作した「ロケ地マップ」は、ドラマの主要な場面で登場する撮影地17か所と飲食店を地図上に示したほか、出演者や錦糸町関係者のインタビューなども収めています。JR両国駅直結の墨田区観光案内所やロケ地の飲食店、観光プロモーションカー「すみーくる」が来店するイベントなどで入手できます。

問い合わせは墨田区観光協会 03-6657-5160 へ。



ドラマ「錦糸町パラダイス」のロケ地を案内したマップ。「ダービー通り」など、ディーブな一帯でも撮影された

すみだストリートジャズフェスティバル報告

「暑い」「寒い」
気候は変動するが
演奏は熱かった



メイン会場の錦糸公園を
含む錦糸町周辺で20か所
近くが演奏会場になった

「すみだストリートジャズフェスティバル2024」が、10月19日と20日（前夜祭は18日）に開催され、錦糸公園と隅田公園を二つのメイン会場に墨田区内の街角に登場した27の演奏会場で音楽が響き渡りました。「錦糸町を元気にする会」の会員企業や団体の施設を含む錦糸町駅周辺20か所近くが演奏会場になり、同会のメンバーも当日のボランティア参加やメイン会場イベント出展するなど、各方面で協力しました。

雨予報で臨んだ19日は予想以上に天気を持ちこたえて運営側を安心させた一方で、日差しが押し上げた気温に半袖姿で「暑い」という声が各所で聞かれました。翌日は一転して気温が急降下し、強風に「寒い」と悲鳴が上がりました。錦糸公園で同時開催した「すみだワンコインオクトーバーフェスト」と「すみだジビエフェスティバル」の出店では、ドリンクで急遽ホット商品を販売して売り上げアップにつなげたところもあったようです。

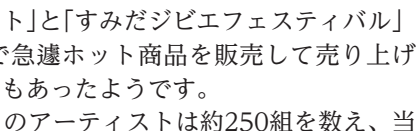
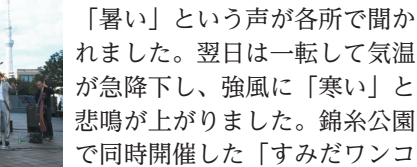
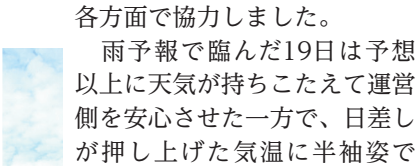
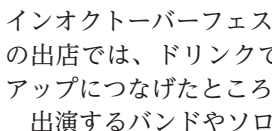
出演するバンドやソロのアーティストは約250組を数え、当

日はお目当ての出演者をめざして遠方から来る人も多くいました。「錦糸町を元気にする会」がボランティアを担当したJR錦糸町駅北口の案内テントは、パンフレットを求めたり会場の行き方を問い合わせる人が絶えず訪れ、寄付額に応じてプレゼントされるリストバンドは限定色の水色が品切れになりました。音楽と芸能の神様、弁財天をデザインした円狐さんによる今年の「すみだジャズ」公式Tシャツは初日に完売する人気ぶりでした。

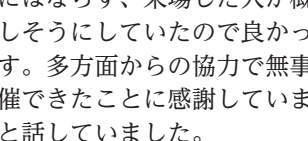
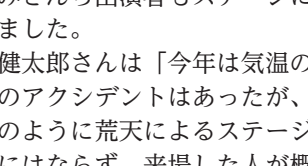
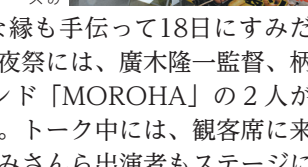
今夏にテレビ東京で放送されたドラマ「錦糸町パラダイス」には、「すみだストリートジャズフェスティバル」をモデルにした錦糸町の音楽フェスシーンが終盤で登場し、撮影には「すみだジャズ」実行委員会も協力しました。そんな縁も手伝って18日にすみだトリフォニーホールで開かれた前夜祭には、廣木隆一監督、柄本時生さん、主題歌を歌ったバンド「MOROHA」の2人が登場する豪華な演出がありました。トーク中には、観客席に来ていた今井隆文さんやさとうほなみさんら出演者もステージに呼ばれ、みんなで撮影を振り返りました。

すみだジャズ実行委員長の多賀健太郎さんは「今年は気温の寒暖差や強風による設備破損などのアクシデントはあったが、前年のように荒天によるステージ中止にはならず、来場した人が概ね楽しそうにしていたので良かったです。多方面からの協力で無事に開催できたことに感謝しています」と話していました。

前年のように荒天によるステージ中止にはならず、来場した人が概ね楽しそうにしていたので良かったです。多方面からの協力で無事に開催できたことに感謝しています」と話していました。



メイン会場となつた錦糸公園パルクステージ



→アルカセントラ
2階のRONDOL
広場での演奏
↑JR錦糸町駅南口
広場のパフォー
マンス



錦糸町駅北口で来場者に案内する「錦糸町を元気にする会」のボランティアスタッフ